

平成30年度（2018）

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園

専門学校穴吹デザインカレッジ

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 専門学校穴吹デザインカレッジ 学校関係者評価委員会は、平成29年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施致しましたので、報告致します。

平成30年12月21日

学校法人穴吹学園

専門学校穴吹デザインカレッジ

学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて、専門学校穴吹デザインカレッジの自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、専門学校穴吹デザインカレッジが行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 学校関係者評価委員会

(委員)

池田 清史 香川県デザイン協会 副会長

北條 照弘 あなぶきホーム株式会社 執行役員 建設部部长

森内 周公 株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作事業部 穴吹デザインプラス 所長代理

前田 政裕 株式会社ウィザード 代表取締役

的井 博嗣 株式会社講談社 ヤングマガジン編集部

森川 崇 元香川県立高等学校校長

佐藤 恵魅 穴吹デザインカレッジ 保護者会支部長 (欠席)

田村 享昭 穴吹デザインカレッジ 卒業生

(学校教職員)

眞鍋 卓照 穴吹デザインカレッジ 校長

後藤 良二 穴吹デザインカレッジ 副校長

壽福 英尚 穴吹デザインカレッジ 教務部 部長

河合 有公子 穴吹デザインカレッジ 教務部 主任

3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 平成30年12月13日(木) 14:00~15:00

開催場所 学校法人穴吹学園 穴吹デザインカレッジ 4階 403教室

4. 自己評価結果の説明・報告(自己評価報告書参照)

当校の「教育理念」、「目的」及び「平成29年度の目標と計画」について説明。各自己評価項目について「評価結果(総括)」、と「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」について報告。書式は、香川県版一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会様式にて実施。

各評価項目について、「A」十分である 「B」おおむね十分である 「C」やや不十分である 「D」不十分である の4段階にて評価。

5. 意見交換、質疑応答

○自己評価点検は上向きになっている部分が多く、×になっている部分も学校生活に密に関わってくる部分以外はさほど気にせずともよいのではないかと。

○保護者アンケートの結果を見ると、親子の連携や、コミュニケーションの変化などにも対応を考える必要があるのではないかと。

○自己評価報告書の、項目ごとに評価されているABCの判定は、どのような基準値なのか？

→項目ごとに基準値が設定されており、○の項目の数で評価している。

○現在は実施されていないとのことだが、卒業生向けのセミナーがあれば、交流の機会にもなり仕事の話にも繋がっていく可能性がある。在校生を交えて、そのような機会があってもいいのではないかと。

○自己評価報告書の目標計画のなかで、コミュニケーション能力についての記載があるが、能力向上ため、具体的にどのようなことに取り組まれているのか知りたい。社会には専門能力の上に、コミュニケーション能力を求められる。

○毎年、講評会で学生作品を見ているが、賞を目指せる作品が増えてきていると感じる。是非このまま続けてほしい。

○自己評価報告書で×がついている部分は、何故達成できなかったのか？どういった理由で実施できないのか？

→毎年×評価のインターンシップについては実施時期や期間を柔軟に対応できるように検討し、早期に取り組みたい。

○インターンの項に×がついているが、インターンシップについては、一切実施がないのか？

→内定先へのインターンシップは実施している。

一日体験という形でもかまわないので、職場見学・体験の機会を作り、企業との繋がりを作る場を設けたほうがいいのではないかと。

本日は貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待に添えますよう、教職員一同、日々努力して参りますのでよろしくごお願い申し上げます。

以上